



6/
02

文字列中に特定の文字列が存在するかを調べる

正規表現を利用した文字列の操作の中でも、最もよく利用するのが文字列の検索と置き換えです。ここではまず、指定された文字列の中から特定の文字列を検索し、その場所や個数を調べる方法を解説していきます。

preg_match関数

文字列の中に特定の文字列が存在するかを調べるには preg_match 関数を使います。POSIX 準拠の場合は ereg 関数を使います。

preg_match関数の記述例

```
1 <?php
2     $str = 'Happy PHP development. PHP is the website scripting language of
  choice.';
3     if(preg_match('/PHP/', $str)){
4         echo 'PHP という文字列が含まれています。';
5     }else{
6         echo 'PHP という文字列が含まれていません。';
7     }
8 ?>
```

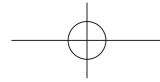
出力結果

```
1 PHP という文字列が含まれています。
```

第1引数には Perl で用いるのと同じ書式の正規表現を、第2引数に対象となる文字列を与えます。preg_match 関数は、文字列が含まれる（正規表現がマッチした、といいます）場合は1、マッチしなかった場合は0を返します。上の例では「\$str」の値に PHP という文字列が含まれているかどうかを調べ、その結果によって表示の内容を変えています。

関数書式

```
1 preg_match (正規表現文字列、調べたい文字列)
```



preg_match 関数の公式ドキュメントは下記のサイトで公開されています。
PHP: preg_match - Manual
<http://www.php.net/manual/ja/function.preg-match.php>



ereg 関数の公式ドキュメントは下記のサイトで公開されています。
PHP: ereg - Manual
<http://www.php.net/manual/ja/function.ereg.php>



if else 文を利用して、

```
1 <?php
2     $str = 'Happy PHP development. PHP is the website scripting language of choice.';
3     if(preg_match('!PHP!', $str)){
4         echo 'PHP という文字列が含まれています。';
5     }else{
6         echo 'PHP という文字列が含まれていません。';
7     }
8 ?>
```

と書いても、preg_match 関数の記述例と同様に処理されます。

6

正規表現



デリミタ

preg_match 関数の記述例の第1引数の文字列の最初と最後に出てくる「/」は、デリミタとよばれる記号です。Perl 互換の正規表現では、正規表現はデリミタで囲まれます。デリミタとして「/」がよく使われますが、実際には英数字と「\」以外の文字であれば、なんでもかまいません。ただし、デリミタで利用した文字が正規表現中に出てきた場合は「\」でエスケープする必要があります。

例えば、以下の二つは同じように処理されます。

「\」をデリミタにする

```
1 <?php
2 preg_match(/\images\/(\w+)\.jpg/', $str)
3 ?>
```

「!」をデリミタにする

```
1 <?php
2 preg_match(!/images\/(\w+)\.jpg!/', $str)
3 ?>
```

正規表現自体に「/」を多用する場合は、「/」以外の文字をデリミタと利用した方が綺麗に書くことができます。